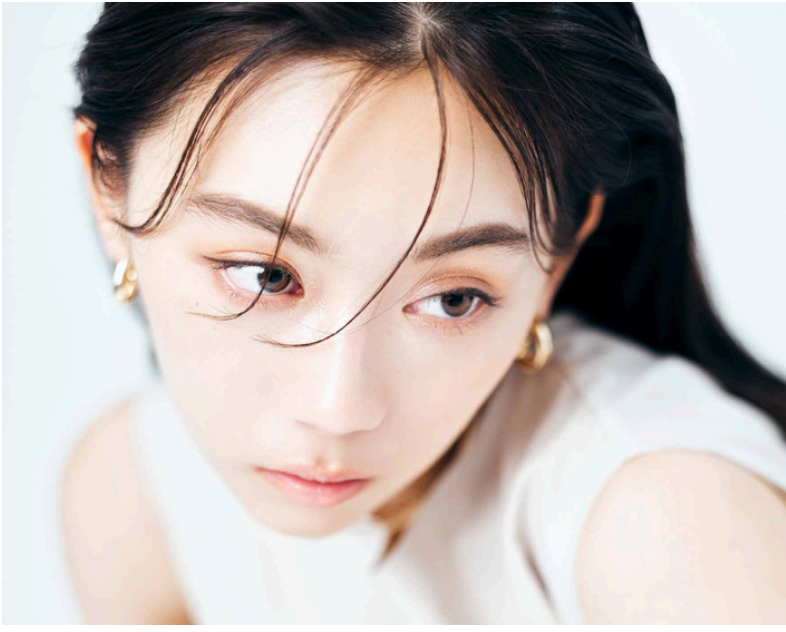
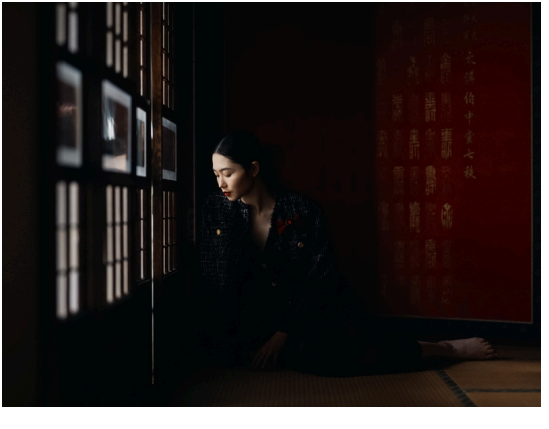
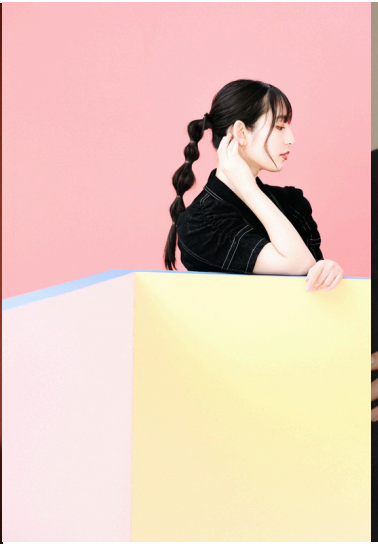
PORTFOLIO

日野 拳吾



PORTRAIT





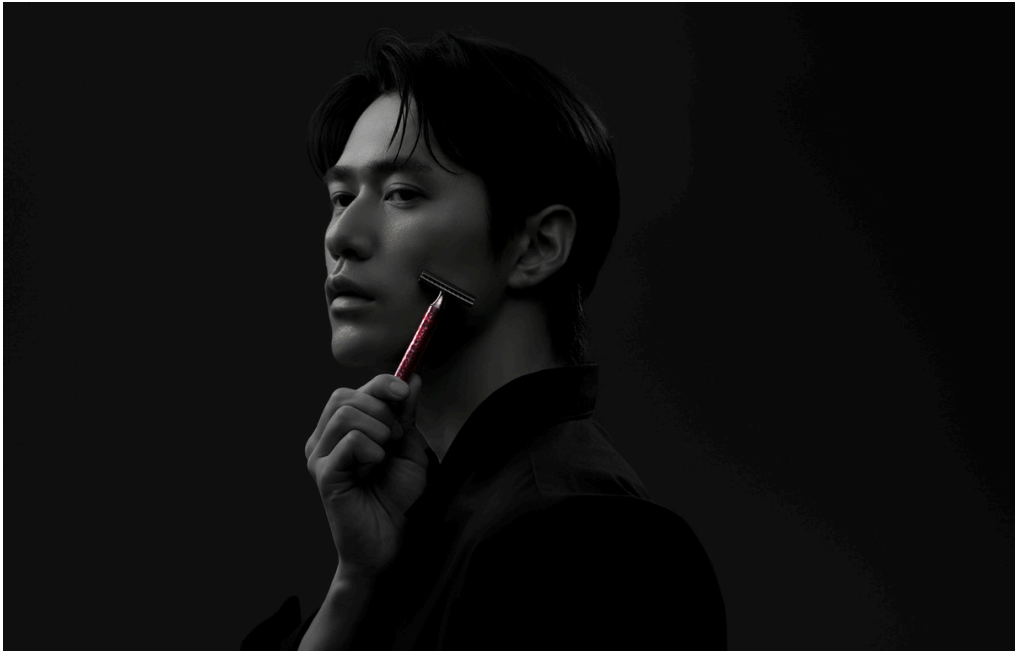
CLIENT WORKS

Snow Man | ファンクラブ会報 vol.16 Pr: ロフトワーク Ph: 須田卓馬 / 日野拳吾（撮影パート分担）

LJL 2026 | ティザー用選手ポートレート・KV撮影　CL: Riot Games / Pr: KS Works

doum　CL: doum / CD: Naoki Ota / HM: Erena Tarumi

meilly　CL: COLENS / AG: LYle / Pr: HAGUMU



悠久刃楼　CL: 山本精工 / Pr: Roseau Pensant

聖徳大学 | 大学案内撮影　CL: 聖徳大学 / Pr: WAVE

tapple | WEB広告 撮影　CL: タップル（サイバーエージェントグループ）

ゆうこすぶかぶかダイアリー　CL: KOS

藤巻亮太×音のVR｜特集 収録現場・インタビュー撮影　CL: 音楽ナタリー

おおた区報｜広報誌 撮影　CL: 大田区 / Pr: WAVE

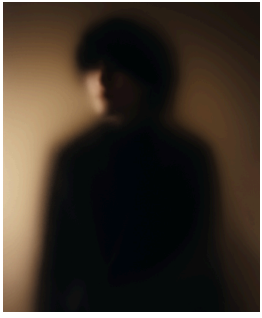
ART WORK

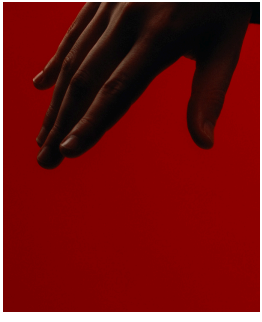
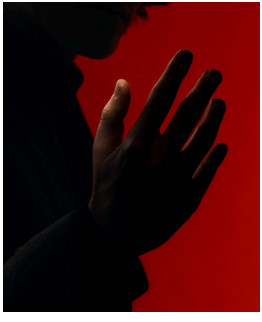
John Doe

他人も自分も、見えているようで実ははっきりとは捉えられない。
人の存在の曖昧な状態そのものを写真として作ることを試みた作品。

ソラリゼーションによる光と影の反転、和紙・水・煙を介した光の滲みや
反射を用い、合成やレタッチに頼らず撮影と印画の両面から輪郭を溶かしていく。

完全に消すのではなく、身体の断片や光の繰を残すことで、
見えているのに分からないという矛盾を持続させている。



Self-Awareness

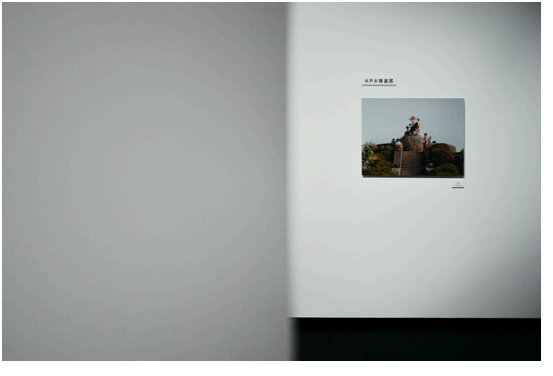
John Doeの原点にあたるスナップ作品。

写真を見返したとき、被写体の視線によって写っていないはずの
自分の存在が像の中に立ち上がっていることに気づいた。
その発見から実像の写らない存在、気配を写す試みを続けている。

2022年 APA awardにて準グランプリにあたるAPA特選賞を受賞。
年鑑「日本の広告写真2023」に掲載、東京都写真美術館に展示。

ポートレートを中心に構成した本資料では本編への掲載を控え、
受賞と掲載の記録のみを掲載。

本作品のシリーズはWEBサイトにて掲載しております。



日野拳吾 Kengo Hino

写真家/Photographer

1992年 広島県出身、東京都在住のフォトグラファー。

大学卒業後、(株)LIXILに勤務。
4年ほど営業として勤務しつつパラレルキャリアとして
建築や広報広告事業のフォトグラファーとして活動。

2018年、結婚を機に上京。
スポットアシスタントとしてクロカワリュート氏、須田卓馬氏、
専属アシスタントとして青山裕企氏に師事。

2025年より独立。

現在はWEB広告等でポートレートやプロダクトを中心に撮影。

ライフワークとして存在の肯定をテーマに作品制作を続けており、
2022年はAPA賞にて準グランプリとなるAPA特選賞を受賞。

撮影：須田卓馬

掲載：年鑑 日本の広告写真2023 ／ コマーシャル・フォト 2025年7月号（玄光社）
出版：写真集「SELF-AWARENESS」(2023年) 写真集「John Doe」(2025年)
展示：The 51st Public Exhibition of Japan Advertising Photographers' Association @東京都写真美術館 (2023年)
写真展 「Exposure」@ユカイハンズギャラリー (2023年) ／ 写真展 「John Doe」@ユカイハンズギャラリー (2025年)

CONTACT

Mail ： r.falstelo.26@gmail.com
Tel ： 080-4242-3214
Line ： toypooo26

LINKS

Web Site ： https://www.kengohino.com/
Instagram ： https://www.instagram.com/hinkr26
Other Links ： https://bio.kengohino.com/

本資料は営業目的の個別送付資料です。掲載写真の二次利用・転載・再配布はご遠慮ください。